

研究計画書

ゼミ名	林亮輔ゼミ	チーム名	林亮輔ゼミ「アクティブ組」
タイトル	「経済学の学習強度は転売への意識にどう影響する？ — 高額転売に対する意識と購買行動の分析 —」		
テーマ群	g) その他		
メンバー	土橋陸、岡田珠音、香川涼介、藏本彩雪、中内颯人		
研究計画内容	【研究の背景】 近年、フリマアプリやネットオークションの普及により、チケットや人気商品の高額転売が社会問題となっている。マスクの転売やイベントチケットの価格高騰などにより、政府や業界団体が規制や反対表明を行う事例も増えた。世論調査でも、多くの人が高額転売に否定的な印象を持っている。一方で、経済学的には高額転売が合理的な市場行動とみなされる場合もあり、経済学の学習経験の有無や市場行動に対する態度がこうした認識に影響を与えている可能性が指摘されている。 【研究の目的】 本研究は、経済学の学習強度、市場行動に対する態度、財の性質の違いが高額転売に対する意識にどのような影響を与えているかを明らかにすることを目的とする。 【研究対象】 本研究では、甲南大学の学生を対象にアンケート調査を行う。特に経済学の学習経験や理解度にばらつきのある集団を調査対象とすることで、高額転売に対する経済学の学習強度による影響の違いを比較・検証する。 【研究の進め方】 1. 先行研究の精読と視点の整理（経済的合理性・倫理・法制度など） 2. 調査票の設計と改善（プレアンケートによる検証） 3. 本調査の実施 4. 回答結果をもとに、経済学の学習強度が転売に対する意識・購買行動にどう影響するかを分析する。 【参考文献】 - 大竹文雄（2016）「チケット転売問題の解決法」、日本経済研究センター 大竹文雄の経済脳を鍛える (https://www.jcer.or.jp/column/otake/index897.html、閲覧日 2025 年 7 月 16 日) - 荻原嵐、金子慧海、Fineman Chen、宮下大祐（2018）「インターネット上の不正転売の是非に対する要因分析」 (https://www.risk.tsukuba.ac.jp/pdf/group-work2018/report/2018_group_03_final、閲覧日 2025 年 7 月 16 日) - 高橋彩（2023）「チケット高額転売問題に対する若者の意識—社会的領域理論からの検討—」、『みえ生活科学研究』3 号、31-44 頁。 - 高橋彩（2025）「チケット不正転売禁止法に対する態度尺度の作成」、『みえ生活科学研究』4 号、12-22 頁。 - 山田直樹（2018）「行動経済学の「公正」から見たチケット転売問題」、高崎経済大学 2017 年度学生懸賞論文受賞作品 (http://www1.tcue.ac.jp/home1/k-gakkai/H29/14.%20yamada%20naoki.pdf、閲覧日 2025 年 7 月 16 日) - Julio Elías Nicola Lacetera Mario Macis（2022）Is the Price Right? The Role of Morals, Ideology, and Tradeoff Thinking in Explaining Reactions to Price Surges		